

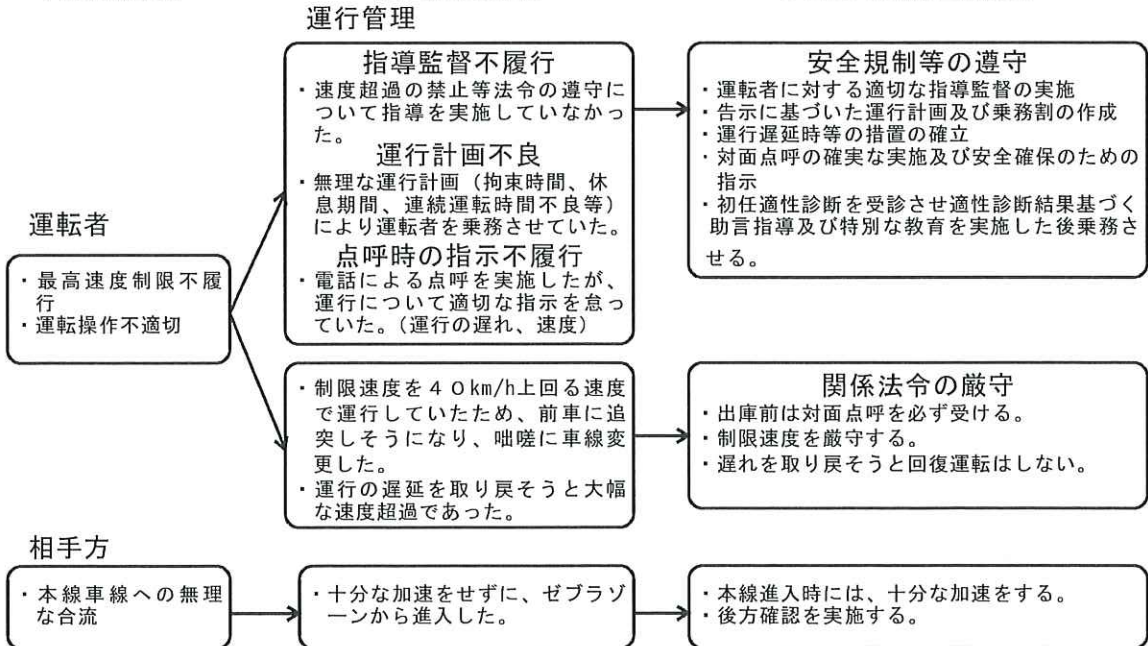
事件事例 4 (一般貨物) 高速道路において速度超過により、P.A.から合流直後のマイクロバスに追突

曜日・時間・天候	(土)・5時10分・雨
場所	高速道路 制限速度 80 km/h 危険認知時速度 120 km/h
道路の状況	湿潤 幅員18m 右曲がり(平坦)
運転者	年令22歳 運転歴1年0月
事故時の乗務距離	70 km
損害	死者1名(バス乗客:67歳)、重傷者5名、軽傷者8名
<p>【事故の概要】当該運転者は寝坊により出庫予定時間の1時間遅れの4:00に運行管理者へ電話連絡をした後出庫した。出発が遅れたため運行計画とは異なる手前のI.Cから高速道路に入り、追越車線を時速120kmで運行中、P.Aより本線に流入しようとするマイクロバスを、走行車線を走行していた大型トラック(時速80km)が避けようとする自車の前に割り込んだため、追突を避けようとしたが間に合わないことから、走行車線に進路変更したところ、加速車線で十分加速することなく本線に流入してきたマイクロバスに衝突、この弾みでバスは左側路肩に乗り上げ横転した。この事故によりバスの乗客1名が死亡、当該運転者を含む13名が重軽傷を負った。なお、当該事業者は、過労防止の告示を満足しない運行計画を作成し、運転者を乗務させていた。</p>	
種別・用途・形状	普通・貨物・バン型
最大積載量	3,100kg
当時の積載量	3,070kg
当時の乗車人員	1人

【推定原因】

【事故の要因】

【事故再発防止対策】

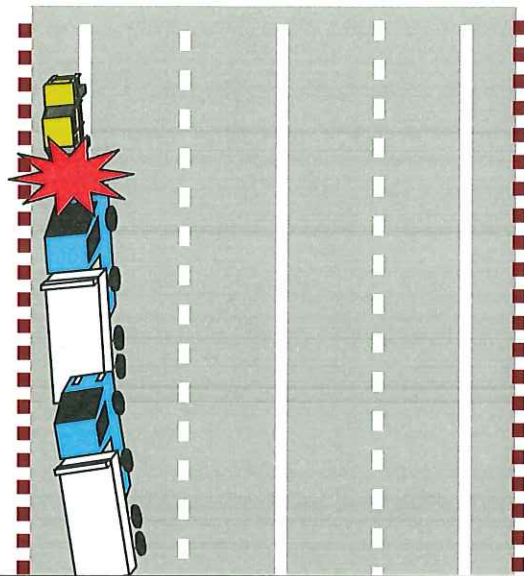


事件事例 1 1 (一般貨物) 高速道路において物を取ろうと脇見運転をしたため斜行し、路肩に停車中の車両に追突

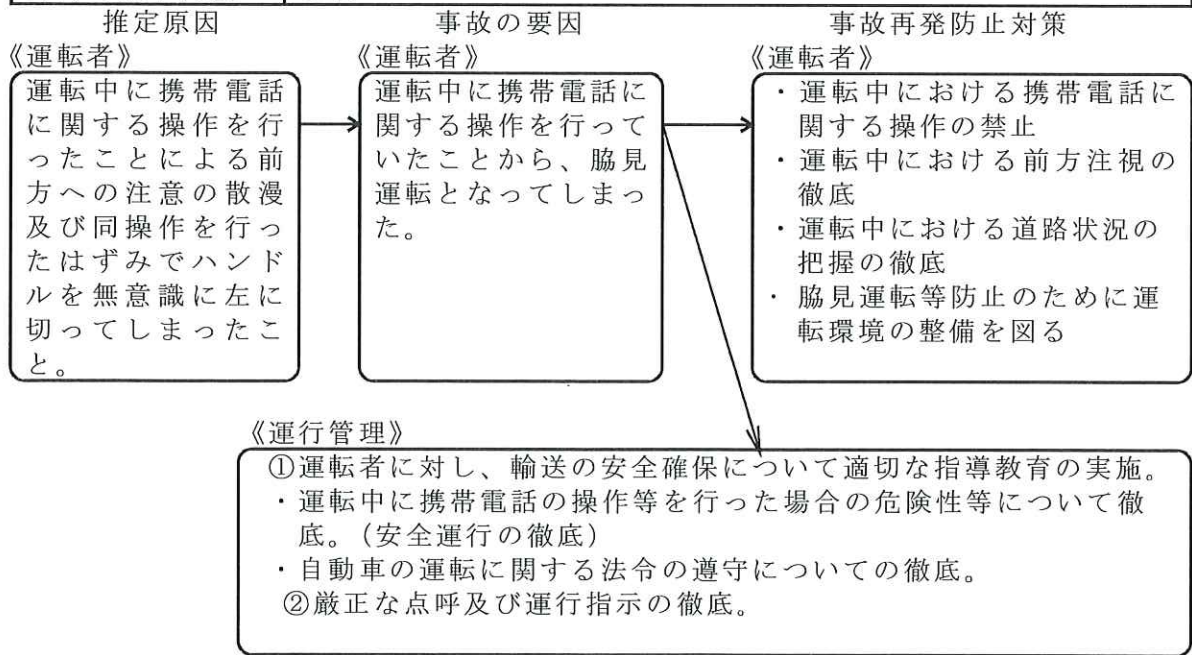
曜日・時間・天候	4月15日(金) 14時22分 晴れ
場所	高速道路
道路の状況	乾燥
運転者	年齢30歳 運転歴10年
乗務開始～事故発生の乗務距離	330km
損害	当該車両左前側面部中破 相手車両大破(全損) 死者1名、軽傷4名(相手車両乗員)

事故概要

当該運転者は、事故前日の19時40分に出勤し点呼を受けた後、20時30分に出庫した。出先で荷物を積載して目的地へ向けて高速道路を90km/hで運行中、携帯電話の充電器を取ろうとして脇見運転となり、車両が左に寄り、路肩に停車していた乗用車に気づくのが遅れ、ブレーキをかけたが間に合わず当該車両の左前部が乗用車の右側後部に追突し、乗用車が大破した。この事故により、乗用車の同乗者1名が死亡し、同運転者及び同乗者3名が軽傷を負った。



種別・形状	普通・大型トラック(バン)
乗車定員	2名
当時の乗車人員	1名



事故事例15 (一般貨物)

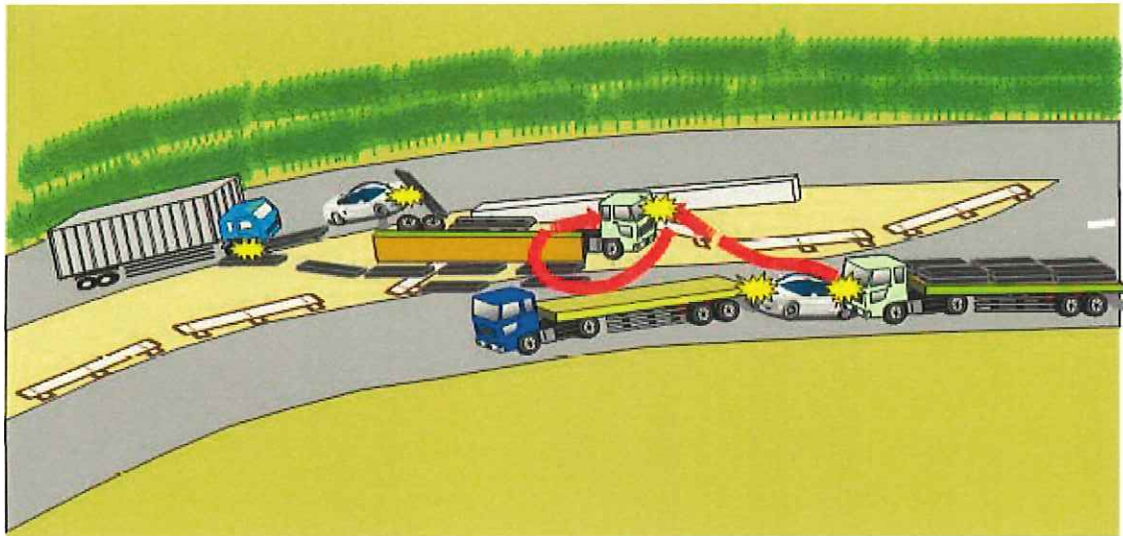
長い下り坂でブレーキを多用したため、フェード現象によりブレーキが効かなくなり
先行車に追突、横転

発生日時・天候	5月31日(水) 0時40分 晴れ
発生場所の状況	一般道 制限速度50km/h 乾燥 幅員(車線)9メートル
運転者	年齢:29歳 運転歴:0年7月
当該車両	種別:普通(大型) 最大積載量:20,000kg 形状:トラクタ、トレーラ 当時の積載量:19,200kg
損害	軽傷6名

事故概要

当該運転者は、カーブが続く長い下り坂でブレーキを多用したため、フェード現象によりブレーキが効かなくなり、前方走行中の乗用車に追突したうえ、道路右側の工事現場のコンクリートブロックに車両を衝突、横転し、積み荷の鉄板を落下させた。

落下した鉄板は対向車線を走行中の車両に衝突し、当該運転者を含む6名が負傷した。



推定原因

要因及び背景

再発防止対策

